

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	教育	-	26	生涯学習センター管理運営事業				☐ 法定受託事務
所管課	生涯学習課				評価者	生涯学習課長 飯田 拓也		
一般	会計	款	55	項	20	目	15	
総合計画上の位置付け	分野名	生涯学習			施策の方針名		生涯学習環境の整備・充実	

1 事業の目的

対象	市民等	意図	学習活動を展開できる場の確保と利用しやすく質の高い魅力的な施設づくりを進めるため。
効果	「いつでも」「どこでも」「だれもが」気軽に学習できる環境の整備・充実を図る。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	学習センターの管理運営 学校学習施設の開放	学習センターの管理運営 学校学習施設の開放 学習センター指定管理者の選定	学習センターの管理運営 学校学習施設の開放 学習センター指定管理者の選定
予算額（千円）	307,412	266,169	
国県支出金			
地方債	14,100		
その他	50	50	
一般財源	293,262	266,119	0
当初人員配置数	5.6	5.6	0.0
人件費（千円）	0	0	0
事業実績	学習センターの管理運営 学校学習施設の開放		
決算額（千円）	296,394		
国県支出金			
地方債	13,200		
その他	54		
一般財源	283,140	0	0
人員配置実績数	5.6	0.0	0.0
人件費（千円）	0	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
活1	指標名	市・生涯学習センター主催の生涯学習事業（講座・イベント）の開催数	回	135	↗	124		
	実績につながる活動	講座・イベントを実施した。				3,253		
活2	指標名	学習センター等の老朽化した箇所の修繕	箇所	5	⇒	6		
	実績につながる活動	非常放送設備更新修繕、第一小学校多目的室1空調取替修繕、第一小学校多目的室2空調取替修繕、鎌倉生涯学習センター1号機油圧式EV工事、たまなわ交流センターEVリニューアル工事、カーボン・マネジメント強化事業にかかる維持修繕				51,981		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	生涯学習センターの管理・運営に指定管理者制度を導入したことで、民間活力を活用しながら、より市民ニーズに合ったサービスを提供することができるようになった。また、開館から40年以上経過し老朽化した施設の維持管理を適切に行い、利用者が安全で快適に利用できる環境整備に努めた。今後も市と指定管理者が相互に協力し、学習センターを適正かつ円滑に管理できるように密な連携を図る必要がある。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No (最大3つ)
成1	生涯学習センター主催事業（講座・イベント）の参加者の満足度	%	85.3	↗	85.9			1
成2	生涯学習センター（設備）に対する貸館利用者の満足度 (満足・やや満足・普通の割合)	%	75.0	↗	75.2			2
成3	市・生涯学習センター主催の生涯学習事業（講座・イベント）の利用者数	人/年	16,504	↗	18,799			1

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	フェスティバルでは令和7年度から飲食スペースを設置したことで、集客につながった。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	アンケートを通じて利用者ニーズを分析し、ニーズを反映した質の高い講座を実施したことで、利用者数や満足度が向上した。老朽化した設備の修繕を行うことで、利用者の満足度を維持することができた。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☒ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☐ 十分に出ている	☒ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
	公平性	関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性		
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容
	前年度の新たな課題への対応結果	一部解決	引き続き老朽化した施設の適切な維持更新が必要である。令和8年度は、ホールの座席や舞台照明の修繕、トイレ洋式化などを行う予定である。
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題	新たな課題あり	現在の指定管理者は令和9年9月で契約期間満了となることから、新たに指定管理者を選定する必要がある。
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性	新規事業の必要性あり	指定管理者の選定に当たり、事業者を求める条件や評価手法を見直す必要がある。
総評			市民ニーズにあった主催事業（講座、イベント）を開催することができた。今後も市民ニーズにあった主催事業（講座、イベント）を行うとともに、施設の適切な維持管理に努める必要がある。
			上位施策への寄与度 A

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項	生涯学習センター・公民館類似施設の数								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績	5館	15館	6館						
	生涯学習センター	公民館	生涯学習センター 公民館						
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	生涯学習センター単独施設を設置している市が非常に少ないため、他市比較が馴染まないことから記載なしとしています。								